

竹富町総合計画（第10次基本計画等）（素案）に関するパブリックコメントの実施結果

受付日	対象箇所	意見	対応	ページ
				パブコメ版
2025/2/20	（【町づくり目標3】島々の持続的な発展を推進する（バランスのとれた町）及び【町づくり目標4】島々の自然と文化を継承する（自然・文化と教育の町））	西表島は国内ではトップクラスの自然度の高い島です。その自然を残す為に、地球温暖化防止を基調とした開発抑制、産業抑制型の政策を実施すべきです。それがむしろ、西表の価値の維持につながり持続的な生活や文化の維持につながるものであり、この案では西表の魅力を放棄することになります。小数意見を尊重する多様性を確保することも島の魅力を高めることとなると考えます。よって、根本的に改正すべきだと思います。	ご意見いただき、誠にありがとうございます。 ご指摘の通り、西表島を含めた本町において、「自然」は、「町民」と同様に大切な財産です。そのために町づくり目標3では、単なる産業振興ではなく、「自然・伝統・文化・生活環境と産業の適正なバランス」をめざしています。掲げた施策群は、みだらな開発によるのではなく、限られた地域資源を守りながら活用していくための方法と捉えております。 しっかりと上記の基本的な考え方が伝わるような記述に修正し、今後予定する最後の審議会に諮って議論してまいります。	70-93
2025/2/14	（全般）	もっと簡潔明瞭に要点だけを書き出してほしい 結局何をどうしたいのかよく分からなかった	ご意見いただき、誠にありがとうございます。 本計画の作成過程におきましては、町民の意向をより反映させるために、必要な情報を掲載するとこのような分量になってしまいました。 ご指摘のとおりわかりやすい計画書とするため、「概要版」も併せて作成する予定です。 完成しましたら、ホームページやLINE等でお知らせいたしますので、ぜひご覧ください。	—
2025/2/7	【町づくり目標3】島々の持続的な発展を		ご意見いただき、誠にありがとうございます。	79-80

受付日	対象箇所	意見	対応	ページ
				パブコメ版
	推進する（バランスのとれた町） 施策(6) 観光の進化 ② 多様なお客様をもてなすための環境整備		当該施策は、今後増えていくと見込まれる外国人観光客を主に念頭に置いています。日本全土で外国人観光客が増えていますが、本町ではまだ十分な受け入れ態勢ができていないため、今のうちからそれを整え、町民生活に負の影響を及ぼすことなく、来訪者に満足していただき、経済的な恩恵を享受しようという趣旨です。	
		・フリーwifi スポットの拡充は不要である。以前、訪問税の説明会で wifi 整備に 5 年で 1.5 億使ったと説明があったが効果検証はしたのであろうか。 15 年前くらいはたしかにフリーwifi に価値があった。しかし今は安価に通信環境を手に入れることができる。あえて竹富町が税金で整備する必要はない。そして現在の無料wifi も利用状況を精査し廃止を検討したほうがよい。	海外では多くの国でフリーWi-Fi 環境が充実しており、魅力的な観光地を形成するという意味で、必要な施策だと考えております。本町では、来訪者が立ち寄る場所でも携帯電話の電波の弱い所があり、通信手段の確保という点からも、来訪者の国内外を問わずフリーWi-Fi は有効だと考えます。	
		・キャッシュレス化の推進は不要である。理由はキャッシュレス化により事業者は手数料の支払いが負担になっている。特に飲食店などは現金商売を続けることで売り上げが減るとは考えにくい。キャッシュレス化は観光業者の中でも本当にメリットが実感できる事業所だけが進めるべきで、そのメリットを享受できていない業者があるのであれば、そこを掘り起こし周知すればよいと思う。町内の全事業所がキャッシュレス化を達成することは、総売り上げの 3 パーセント前後は島外資本に回ることになり、町	もちろん、望む事業者だけが対象です。「推進」という言葉が誤解を生じさせてしまったかと存じますので、「キャッシュレス化の支援」と修正させていただきます。	

受付日	対象箇所	意見	対応	ページ
				パブコメ版
		内の経済にとってはマイナス効果なのではないだろうか。		
		・外国からの来訪者を迎え入れるための環境整備を推進するのであれば、同時に住民の意識改革も同時にしてほしい。 竹富町にとって外国人観光客が増えることでどういったメリットがあるのか。オーバーツーリズム対策はどのようにしているか、等。 住民の理解なしにインバウンドの推進は観光事業者とそうでない人との摩擦が生じる懸念がある。	まずは、この施策の説明と周知を図っていくことが、まさしく町民の皆様とその必要性・メリット・対策を伝えることになると思います。 また、「行政に関わる施策」の「1. 町民との協働による町づくりの推進」施策(1)の「①町民ニーズの把握と町政への反映の機会の充実」に掲げたような様々な機会において、適宜説明をおこなってまいります。	
		・観光関連サービスの高付加価値化（宿泊施設改修に対する融資支援、新業態の起業支援など） ハードの支援は沖縄振興開発金融公庫や県や国の補助金などに事業者がそれぞれ活用すればいい。 竹富町はハード支援ではなく、観光業に携わる人材への投資をしてほしい。 具体的には公募で選抜した町内の中学生を対象に未来の竹富町の観光地作りに提言をしてもらう ①町内観光事業所での複数社でのインターン ②竹富町職員による竹富町の抱える課題、目指す未来の情報共有 ③国内外の観光地に視察研修（全額公費負担） ④研修後の講習会（有識者のサポートのもと提言書作成） ⑤町議会などでの成果発表会	観光に限定したものではありませんが、「行政に関わる施策」の「1. 町民との協働による町づくりの推進」施策(1)の「①町民ニーズの把握と町政への反映の機会の充実」に「次世代による町の魅力再発見」という取り組みを掲げております（p.95）。貴殿の発想と共通するところが大きいものですので、ぜひ貴殿のアイデアを参考にさせていただきたく存じます。	

受付日	対象箇所	意見	対応	ページ
				パブコメ版
		⑥これらの過程を Youtube で可能な限り公開し、収益化も目指す。 ⑦中学生はこれらの経験を高校入試時のセールスポイントとして活用する。		
		・観光における竹富町ブランドの町内外への浸透 「竹富町」として日本人に浸透させることよりも今後増える可能性が高い外国人に向けて、「Taketomicho」を売り込んでほしい。	海外向けの発信は現時点でほとんどできていないため、環境整備を早急に進め、並行して発信を強化していきたいと存じます。また、まだ本町を訪れたことのない日本人もたくさんいると推測されるため、そういった方々へ向けての発信も行っていきたいと考えております。 また、町内においては、観光について、関連した産業に従事している人と、そうでない人との間で、異なる捉え方をしている状態が見受けられます。本町の経済にとって、観光は欠かせないものであり、本町の自然や伝統文化を広く知っていただくまたとない機会でもあります。町民にも竹富町ブランドとは何かを一緒になって考えていただくことで、町民みんなで来訪者をもてなし、来訪者満足度の高い、唯一無二の観光地として進化を図っていきたいと考えております。	

受付日	対象箇所	意見	対応	ページ
				パブコメ版
2025/2/7	（【町づくり目標 2】島人の暮らしと来訪者の滞在を支える（安心な町）《生活基盤》施策(3)の「① 海上交通の利便性・安定性の向上」もしくは「施策(4) 貨物輸送力の増強」）	石垣のスーパーが船積みを廃止すると聞きましたが、本当ですか？ 離島に住む人々には石垣での買い物は必須です。まして船便も少なく、船運賃もたびたび変動するので、買い物はまとめてせざる得ません。船積みにかかる経費はばかにはならないでしょうが、業者に補助金をだすなどして船積みは是非継続してください。	ご意見いただき、誠にありがとうございます。 石垣のスーパーの船積み廃止について、現状を含めた事実確認が必要であると考えており、船積みが廃止であれば、廃止に至った経緯等も把握したうえで対応を検討して参ります。 また、並行して、西表島においては「西表島小売店協議会」が昨年発足され、西表島内の商店で買い物しやすい環境づくりに向けた協議を重ねているところでありますので、当該協議会と共に、西表島から町内へ波及させていけるよう努め、少しでも町内での経済循環に寄与できればと考えております。	—